

市政報告

松政クラブ

石井いさむ



発行者 松戸市議会議員 石井いさむ
連絡先 松戸市役所
〒271-8588 千葉県松戸市根本387-5

Municipal administration report from Ishii Isamu
第04号

2013年 新春対談

これからの松戸市はどうあるべきかを考えるため、 渡辺ひろみち議員にお話を伺いました。



(裏面からの続き)

これは一例ですが、例えばここに大学の国際学部を誘致し、外国からの留学生を呼び寄せ、日本の最先端技術や伝統文化を学ぶため「国際交流センター」のような機能を果たしていけば良いのではないかと思います。

松戸市には伝統的な文化もありますし、近隣には松飛台工業団地も抱えています。伝統も最先端技術も提供できます。これからの国際化は益々発展していくでしょうし、その中で松戸市がインシアチブを取っていきけるようになれば、それは立派な松戸市の特色になるのではないのでしょうか？

石井 なるほど、既に多数存在する大学を、国際交流というキーワードでネットワーク化するわけですね。経済だけでなく、教育にも良い効果をもたらさそうです。

渡辺

ともかく、松戸市の発展のために常に意識していかないといけないのは、整備されつつある交通インフラ、つまり「線」が整備され、完成しつつある関東のこれまでは違った「面」の姿を冷静に見定め、その中で松戸市をどんな特色を持った「点」としていくか、という事です。

この地域は私の地元でもありますし、発展のためには国政からも最大限のサポートをしていきたいと思っています。ですから、石井議員は松戸市の立場から、どんな良いプランを考えていただき、提言していただきたいです。

石井

地域を代表する国会議員の渡辺議員にそういつていただけると大変ありがたいです。今後も頻りに議員会館にお伺いしますね。

渡辺

いつでもいらしてください。お待ちしておりますよ。



対談を終えて

年始早々、まだ選挙の熱も冷めやらぬ時期に訪問させていただいたにもかかわらず、渡辺議員は私の質問に対し、懇切丁寧に回答してくれました。

また渡辺議員は、国会議員として日本を「面」として大きく捉えた視点と、地元の小さな交差点や踏切といった細かな「点」の視点もあわせもたれており、改めて地元出身の衆議院議員とのつながりの大切さを実感するとともに、この地域の代表が渡辺議員で良かったと感じました。

道路・鉄道のインフラが整備されつつある現在、松戸市の置かれた状況も刻々と変貌を遂げております。これをチャンスとして捉え、松戸市がより発展するよう邁進したいという思いを新たに、夕暮れの国会議事堂を後にしました。

近隣他市は私たち松戸市民にとってのライバルではなく、連携する事により強力なパートナーとなります。この地域全体を住みよいものとするため、市民の皆様がより安心して生活を送れるようになるため、渡辺議員をはじめとした国政・県政、さらには近隣他市との連携により、松戸市をさらに発展させていきたいと思えます。

私も市民目線を忘れず日々活動して参ります。今後とも、皆様のご意見・ご要望をお待ち申し上げております。

渡辺ひろみち衆議院議員プロフィール

昭和25年松戸市生まれ。松戸市役所職員、千葉県議会議員を経て、平成8年、自民党公認候補として衆議院議員に初当選。以来、自民党副幹事長・経産省副大臣など国政の要職を歴任する。第45回の衆議院議員選挙では惜敗したが、その間も市民活動を精力的に行い市民目線の政治家として地力を増し、先の選挙において千葉6区より見事5期目の当選を果たした。

石井

本日はお忙しい最中、お時間を作って頂きありがとうございます。本日は色々とお話をお話を伺えればと考えております。

渡辺

石井さんは市議会議員一期目ですね。

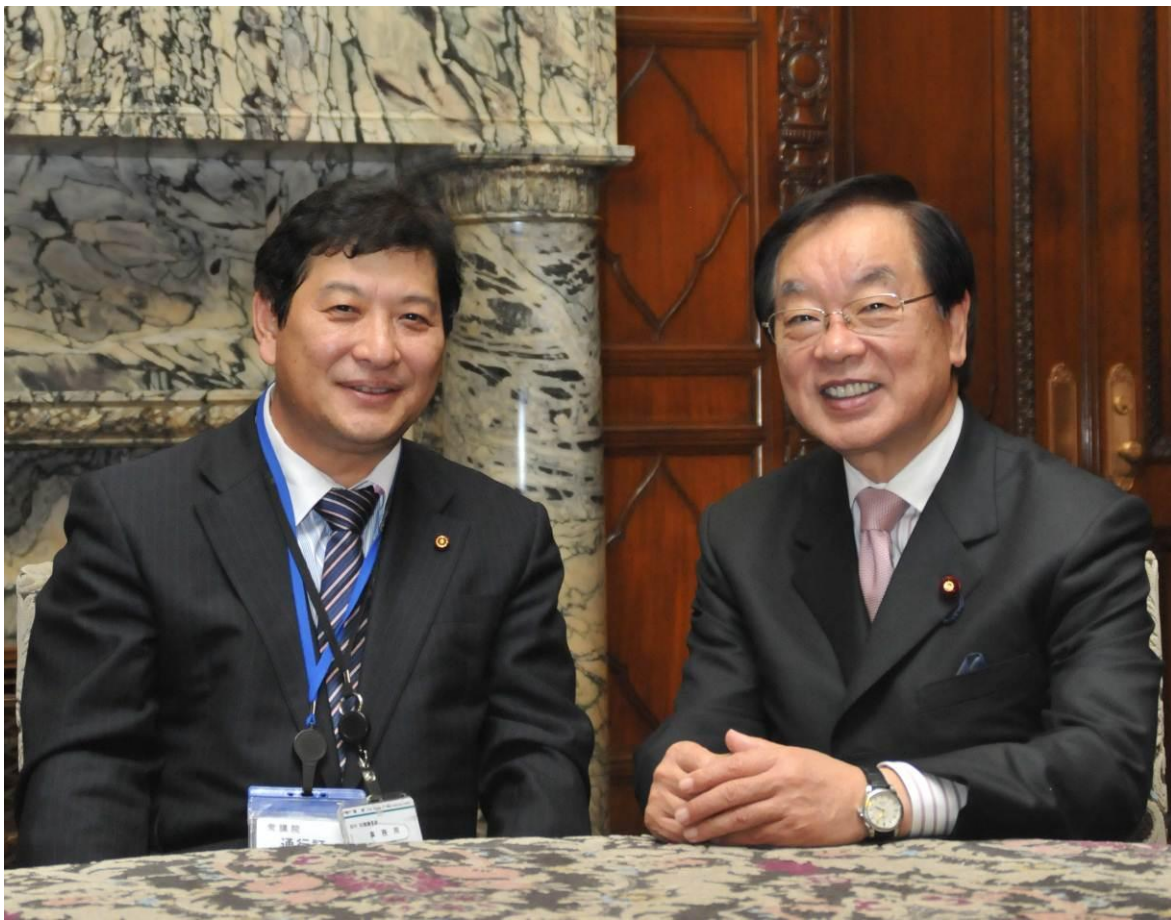
石井

はい。私は市議会議員「一年生」として、市民目線を忘れる事なく「市民自身の手で出来る事は、その活動をバックアップ」とともに、「市民の力だけで達成できないものは、市とともに解決していく」というスタンスで頑張ってきました。でも、どうしても松戸市単体では実現できない大きな問題に直面する事があります。こういう事については、県政や国政との連携が重要と考え、本日、渡辺議員に胸を借りようと思いつたわけです。

渡辺

地域づくりのためのアクションには「点と線と面」があるのだと思います。つまり、松戸市や松戸市民の皆さんが行っている最初の試みや動きが「点」であるとするれば、それを下支えする道路や線路の整備などをはじめとした政策が「線」、そして、その結果現れる経済効果・人口増加など地域の発展が「面」なのだろうなど。これをいかに有機的に連携させていくかが成否を分ける重要なポイントです。

北千葉道路や外環道などの道路、JR常磐線の東京駅乗り入れなど、松戸市周辺の交通インフラが整備されつつあり、それに合わせ松戸市も刻々と変化しつつあります。このような中、市民の皆様が安心して暮らせる生活を創造していくために何が必要なのか。市議会議員として考えるべき事はたくさんあります。ただ、市議会議員が単独で実現できる事には限りがあり、県政・国政との連携が重要になってきます。そこで今回は、昨年の衆議院議員選挙で地元千葉6区より見事当選を果たした渡辺ひろみち議員を訪ね、お話を伺ってきました。



石井いさむの日々の活動、市政の最新情報は、

<http://d.hatena.ne.jp/ishii136/>

二次元バーコードを読み込み、
携帯電話でもご覧いただけます。



石井

以前、北千葉道路近隣の7市が集まり
京都大学の藤井教授に話を伺った事があるのですが、この北千葉道路の整備
状況を見て「非常にもつたいない」と
おっしゃっていました。

詳しく伺うと、成田に到着した貨物は、
北千葉道路が十分に整備されていない
がために、よりトラフィック状況の良い
埼玉方面に運ばれてしまっている
と。もし成田が外環道と接続し、トラ
フィックの状況が改善すれば、北総線
沿線に貨物の集積先が作られ、地域に
大きな経済効果が望まれるとの事でした。
では、外環道との接続が完成して
いない残り10^{km}ほどの部位がどこか
と云えば、これは松戸市・市川市・鎌
ヶ谷市の市境なのです。

渡辺
そう、市境なのですよね。なるほど、
だんだん石井議員のおっしゃりたい事
がわかってきましたよ(笑)

石井

さすが、地元の衆議院議員さん(笑)。
千葉北道路と外環道が接続すれば、そ
れぞれの市だけでなく、この地域全体
に利便性がもたらされるわけですから、
どうしても繋げていきたいと考えてい
るのです。

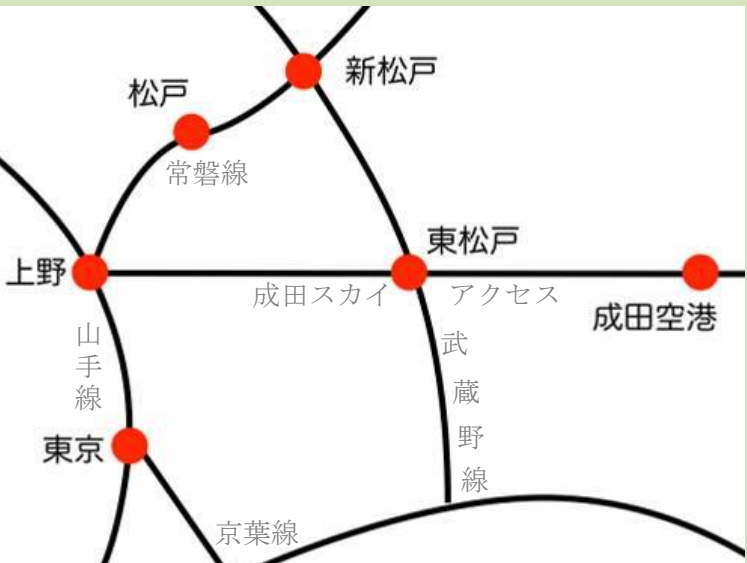
まずは、松戸駅前から
「新しい松戸市」を目指して

石井

鉄道に目を向けると、やはりJR常磐
線です。平成26年度にJR常磐線の
東京駅への乗り入れがはじまるとお聞
かされています。そうなれば利便性はも
ちろん、松戸市の人口増加にも繋がる
のではないかと思います。

渡辺
JR常磐線については、現在上野駅か
ら東京駅を直接接続するように工事を
行っており、平成26年度には乗り入
れが開始される予定です。

KEY POINT #02: 鉄道の整備状況



平成26年度にはJR常磐線の東京駅への直接乗り入れが開始する
予定であり、松戸駅を中心とした常磐線沿線の都心アクセス向上が
期待されます。
また、既に敷設されている武蔵野線・成田スカイアクセス線により、
東松戸駅は成田空港・東京駅ともに1時間圏内という恵まれた状況
となっており、松戸市の発展のための有効活用が望まれます。



この事について、市役所の関係部署に
も話を聞いてみたのですが、やはり市
境は、市が単独で事業主体となった場
合、投資に対する経済効果が生まれづ
らく、どうしても二の足を踏んでしま
うらしいのです。こういう状況である
ため、この地域については現在も事業
主体が決まらず、この結果、大学の先
生がおっしゃったような「もつたいな
い状況」が生まれてしまっていると。
こういう点については、是非とも県政
や国政に音頭を取って欲しいところな
のです。

渡辺

北千葉道路は既に鎌ヶ谷まで完成して
いますが、その後のルートはまだ未調
整で、時代の変遷とともに青写真も
刻々と変わっています。市川・松戸・
鎌ヶ谷などの近隣市町村、それに千葉
県と国で連絡協議会を設立し協議を行
っています。それを早々に決めてい
く、進めていく事が肝要です。

また、外環道は平成27年度の全面開
通を目的に京葉道路まで接続する計画
ですので、これが完成すれば経済効果

石井

この事も1つの起爆剤となり、松戸駅
周辺では今、まちづくりに向けた協議
がはじまったところです。私も9月の
議会で一般質問させていただきました。
この質問について、「六実出身の議員
がどうして?」とよく言われるので
すが、まずは松戸駅周辺のブランドが高
まり松戸市の財政が向上していかない
と、六実の再開発は夢のまた夢、つま
りまずは松戸駅が元気になつてもらわ
ないといけないと思っっているのです。
この件については松戸市・付近住民が
一体となり、色々な試みを考えている
ようで、私も応援していきたいと思っ
ています。でも、地域の人々が集まっ

KEY POINT #01: 北千葉道路と外環道



だけでなく、市民の利便性も確保され
る事でしょう。
松戸市に目を向ければ、三矢小台近辺
に松戸ICが作られる予定です。これ
と北千葉道路の接続がいかに利便性を
もってなされるかが重要となります。
藤井教授が仰っていたのですが、日本
では長く続く不況の中で、いつしか、
「公共投資悪」というようなイメージが
強くなっていますが、海外に目を向け
ればどの国でも必要な投資は行っ
ていると。一律で公共事業を縮小して
まっているのは日本ぐらいなものだ
という事らしいのです。無駄を省くのは
当然ですが、利便性や経済効果を考え

渡辺

例えば、外環道路が整備された場合、
湾岸道路から常磐道までが15分、東
北道まで30分で接続されるようにな
ります。そういう意味では、完成して
いないがために「高速道路の機能を果
たしていない」道路はたくさんありま
す。ネットワークは結んでこそ本当の
効果が見込まれるわけです。
未完成な幹線がそのままにされる事
こそが、残念な事に結果的として「無駄」
を生み出してしまっているとも言えま
すよね。

石井

ただけでは、どうしても資金面の問題
などから、建物や道路など「ハードの
開発」には着手できないのが実情です。
ただ、この協議を進める中で、国の社
会資本整備総合交付金を利用できる方
向もあるという事が分かりました。
この場合、松戸市も本腰を挙げて抜本
的な松戸駅周辺のまちづくりビジョン
を描けるようになります。



石井

そうですね。あれが欲しいこれが欲
しいというだけではなく、「住みたい
と思ってもらえるために、どのような
まちにしていきたいか」という、差別
化のできるビジョンを作っていくか
ないといけないと思うのです。

渡辺

松戸駅の東口・西口ですよね。実情を
言えば松戸市が民間企業に要望を出し
ても、なかなか企業も動きづらと思
いますし、これはやはり国が協力する
必要があるのだと思います。しかし、
その際に重要となってくるのは、松戸
市がどういう特色を出していくかとい
う事です。
例えば松戸駅に目を向けますと、確か
に北千住まで10分、上野まで20分
都内にアクセスするためには、とても
利便性の高い駅だと思えます。
でもその反面、それが地域商業の活性
化を妨げているという見方もあるの
ではないかと思えます。そこまで近い

渡辺

教育機関に目を向ければ、松戸市は聖
徳・千葉大園芸学部・日大歯学部・流
通経済大を抱えており、これだけ若者
が集まる素地ができてくるのに、それ
をうまくネットワークできていないの
は、非常にもつたいない事です。
例えば、東松戸駅は羽田空港からも成
田空港からも1時間圏内にあります。
さらに、東京駅へも1時間以内で行け
る。こう考えると、この東松戸という
駅は途方も無い可能性を秘めているわ
けです。

(裏面に続きます)